

第26回鴨川市史編さん委員会会議録

- 1 日 時 平成25年7月12日（金）
午前11時～午後3時
- 1 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 1 出席委員 5名（欠席なし）
三浦茂一・中嶋八良・藤崎史正・小谷善親・佐藤恵重
- 1 事務局 課長 黒野 雅典（所用により途中退席）
副主査 高橋 誠
副主査 畑中 博司（所用により途中退席）
- 1 傍聴者 なし

- 1 本日の協議事項
- （1）平成24年度事業報告について
 - （2）平成25年度事業計画(案)について
 - （3）あゆみ解説講座について
 - （4）『吉尾のあゆみ』の校閲について
 - （5）次回会議の公開又は非公開について

開 会 午前11時5分

- （1）事務局は、全委員出席のもと会議を開会する旨を告げ、公開の会議だが傍聴の申込はなかった旨を報告。
- （2）委員の委嘱状交付を行った。
- （3）黒野生涯学習課長よりあいさつを行った。
- （4）事務局より日程・資料の説明を行った。
- （5）任期満了後、初の会議のため、委員長・副委員長の選任を行った。
引き続き、委員長は三浦茂一委員、副委員長は中嶋八良委員に決定。

議 事

事務局は、議長は鴨川市史編さん委員会設置条例第5条第1項の規定により、三浦委員長に願う旨を告げた。

会議録署名委員の指名

- （1）議長は、会議録署名人の指定について諮る旨を告げた。
- （2）議長は、鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7の3（会議録の作成）により議長の指名で、全員異議なく次の委員を選定、承認された旨を述べた。

佐藤 恵重 主任委員

議事の説明

議長は、議事「(1) 平成 24 年度事業報告について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(1) については、高橋副主査が報告と説明をした。

協議

議長は、これより議事 (1) について質疑及び意見を求めた。

- 議 長 ・ 東条村役場文書は収蔵資料一覧のどこにあるか。
- 事務局 ・ 整理番号 9 6 の次になります。資料調査の関係上、目録が別になっておりますので、整理番号がついておりません。
- 議 長 ・ どこに保管されているか。
- 事務局 ・ 文化財センター 2 階の収蔵庫に、箱に仕分けされ、保管しています。
- 小谷委員 ・ その他の古文書はすぐにわかるようになっているか。
- 事務局 ・ 整理番号ごとに箱に入っており、区別がつくようになっています。
- 議 長 ・ 千葉県文書館に寄託されている、北風原の永井家文書があるが、すべての複写物があるのか。
- 事務局 ・ 大半のものがありますが、すべてではありません。
- 議 長 ・ 庁舎書庫文書なども整理番号がないが？
- 事務局 ・ 収蔵されてはいますが、目録作成まで至っていない分になります。
- 佐藤委員 ・ 戸塚家文書についてですが、殿様や家来の手紙関係、有職故実関係、ほら貝による軍法関係などがある。赤穂義士の手紙を写したものや、のみやしらみたちの問答集といった、おもしろいものもある。特筆すべきは、鴨川地区周辺の俳句の会の資料。今までとりあげてこなかった分野になる。
- 議 長 ・ 書籍類はないのか。
- 佐藤委員 ・ 四書五経は揃っている。

議長は、ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(1) 平成 22 年度事業報告について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、議事「(2) 平成 25 年度事業計画(案)について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事 (2) については、高橋副主査が説明をした。

- 議 長 ・ 成就院文書というのはどのようなものか。
- 事務局 ・ 江戸時代のお寺関係の文書が中心です。その中に、室町時代中期頃 2 点と安土桃山時代 1 点の古文書がありました。市史史料編にも掲載されているものでしたので、今回の展覧会にて展示する予定です。

協議

議長は、これより議事（2）について質疑及び意見を求めた。

議長は、ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(2) 平成 24 年度事業計画(案)について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、議事「(3) あゆみ解説講座について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事（3）については、高橋副主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事（3）について質疑及び意見を求めた。

- 藤崎委員 ・ あゆみ解説講座は、鴨川町のあゆみだけだったか。
- 事務局 ・ 過去、実施したのは鴨川町のあゆみだけとなります。
- 藤崎委員 ・ とすると、鴨川町のあゆみ以外が対象ということか。
- 事務局 ・ そのとおりです。
- 中嶋委員 ・ 地区が多いので、回数によっては何年かかるかわからない。内容がうすくなるかもしれないが、各あゆみ 1 回の案 1の方がよいように思う。
- 藤崎委員 ・ 鴨川町を除き東条を入れると、8 地区が対象となる。
- 議 長 ・ 具体的に地区を決めるか。
- 事務局 ・ 地区を決めてから講師を選択するか、講師を決めて講師に選んでいただくかの 2 通りの方法があります。
- 議 長 ・ どなたか、この地区はやりたいというのがあれば。
- 議 長 ・ 案 1 の各あゆみ 1 回でどうだろうか。
- 佐藤委員 ・ それでいいと思う。私は言われればどこでもやる。
- 中嶋委員 ・ 一番良いのは執筆者に解説してもらえるのがよい。
- 藤崎委員 ・ 執筆者にやっていただくのが一番良い。都合がつかないなどできないということであれば、佐藤先生にお願いすることでどうだろうか。
- 課 長 ・ あゆみ一つであると小さな地区ですので、参加者が少ない可能性がある。概要として一つの案として、歴史的にもつながりの深い地区同

士でまとめたらどうでしょうか。例とすると、長狭地区と天津小湊地区など。

中嶋委員 ・執筆者からすると、書いていないところの文の解説はやりづらいのではないかと。あゆみ数冊をまとめてもよいと思う。

課 長 ・解説講座は、あゆみの広報的な目的もあるので、地区が広がると効果があると考えられます。

藤崎委員 ・大きな行政単位で考えて、主基と大山を一つと考えると、田原は鴨川につけて、天津小湊で一つ、曾呂と太海をまとめて、ということではどうだろうか。近代にいくと、行政単位での話が多いので、話がしやすいのではないだろうか。

中嶋委員 ・出てないところもあるので、やりづらい面があると思う。主基だけが編集方針が違うので、注意したいところ。

課 長 ・吉尾が平成27年度に出ますので、長狭地区はその時に実施してもよいのではと考えます。

中嶋委員 ・そうした面なら、天津小湊が最適。

藤崎委員 ・天津小湊を一緒にして、近世までと近代以降の2回に分けたらどうか。歴史的に共通する部分が多い。比較対象で話していただけると、興味をひくのではないかと。

中嶋委員 ・あゆみが発刊されているところの方が参加者にも説明しやすい。天津小湊はすぐにできる。長狭は吉尾のあゆみが出た段階で実施できる。

議 長 ・次に、教育委員会の研修の講師を決めたい。

課 長 ・1時間程度で、内容は基本的な歴史に関することを考えている。

藤崎委員 ・佐藤先生にお願いして、事務局と相談してもらえれば。

佐藤委員 ・内容がなかなか難しい。希望があれば。

課 長 ・特に希望を聞いていないが、こちらで考えなければと思います。

佐藤委員 ・鴨川に関係する歴史ということでまとめます。

佐藤委員 ・場所と日時は？ 支所まで行くのか？

課 長 ・こちらの文化財センターを考えています。時期は、10月20日前後の予定です。

ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(3) あゆみ解説講座について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議長は、ここで会議を一時休憩とする旨を告げた。

休憩：午後12時15分から午後13時まで。

議事の説明

議長は、会議の再開を告げ、質疑及び意見を求めた。

議事の説明

議長は、議事「(4)『吉尾のあゆみ』の校閲について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(4)については、高橋副主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事(4)について質疑及び意見を求めた。

- 中嶋委員 ・安房分国の理由の説明として、つながりがわかりづらい。
- 佐藤委員 ・文章をきってしまったらどうか。つながっているので、関連があるように理解してしまう。
- 議長 ・「考えられることは」も除いて、文章のつながりをいったん切りましょう。
- 中嶋委員 ・「醇酎が池の伝承」は話の名称なので、「 」を入れたらどうか。
- 議長 ・全体が地名辞書からの引用。「 」を入れるより、全体を引用形式にしましょう。
- 藤崎委員 ・丈部郷の解説だけ単独の段落になっていない。他とそろえた方がいいのでは。丈部郷を文頭に移して整える。
- 佐藤委員 ・頼朝と三浦氏が合流するところで、読み方によっては現地にもともといたと解釈してしまう。
- 小谷委員 ・「先に脱出してきた」と入れておけばわかるでしょう。
- 藤崎委員 ・「三浦の豪族三浦氏」の表現がしっくりこなかった。半島を入れるか、豪族部分を除くか。
- 佐藤委員 ・「三浦氏」のみにする。
- 中嶋委員 ・半島を入れるだけの方が。
- 小谷委員 ・本拠は三浦郡だが、対岸というイメージを活かすには「半島」が入った方がよい。
- 議長 ・起こった年がわかりにくい場合がある。適宜、年号や西暦年を入れていただきたい。
- 佐藤委員 ・東条郷寄進の前に、安産祈願の代理参詣の話がある。それを追加したいが。
- 議長 ・東条郷に関連する話であれば、入れておいた方がよい。
- 小谷委員 ・「私願成就」という言葉は使うだろうか。
- 事務局 ・原文にその言葉がある。
- 佐藤委員 ・ほとんど使わない言葉で、なくても意味はわかるのでとる。
- 佐藤委員 ・「〇〇年間」の西暦表現について、西暦年がずれることがあるので表記に困っている。

議 長 ・正解というものが無いので、適宜お願いします。

ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(4)『吉尾のあゆみ』の校閲について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、記事「(5) 次回会議の公開又は非公開について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事 (5) については、高橋誠副主査が説明をした。

- ・平成 25 年 11 月頃に第 27 回市史編さん委員会を予定している。
- ・内容は、引き続き『吉尾のあゆみ』の校閲について、次回会議の公開又は非公開について、である。

以上のような次第で、あえて非公開としないような内容ではないと思う旨を述べた。

協 議

議長は、これより、議事 (5) について質疑及び意見を求めた。

全委員 ・公開で良いだろう。

議 決

議長は、議事「(5) 次回会議の公開又は非公開について」は、「公開」とすることに委員全員の賛成をもって決した旨を告げた。

議長は、以上で議事を終了した旨を告げた。

事務局は、その他について意見を求める旨を告げたが、意見なく、本日の日程は全て終了したので、第 26 回鴨川市史編さん委員会会議の閉会を宣した。

閉 会 午後 3 時

以上会議の顛末を記し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 25 年 8 月 2 日

署 名 委 員

委 員 佐藤 恵重
